

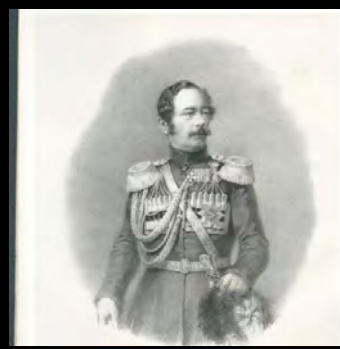
日時：2012年12月8日（土）14:00～  
 場所：北海道大学人文社会科学教育研究総合棟  
 （W棟）202教室



第1セッション 14:00～15:20  
 井上紘一（北海道大学名誉教授）  
 「訳書コンスタンチン・ガポネンコ  
 『樺太・瑞穂村の悲劇』をめぐって」  
 コメンテータ：天野尚樹



第2セッション 15:30～16:50  
 舟川はるひ（来日ロシア人研究会）  
 「ウラジオストク総領事館員拘禁事  
 件の真相を追いかけて」  
 コメンテータ：原暉之

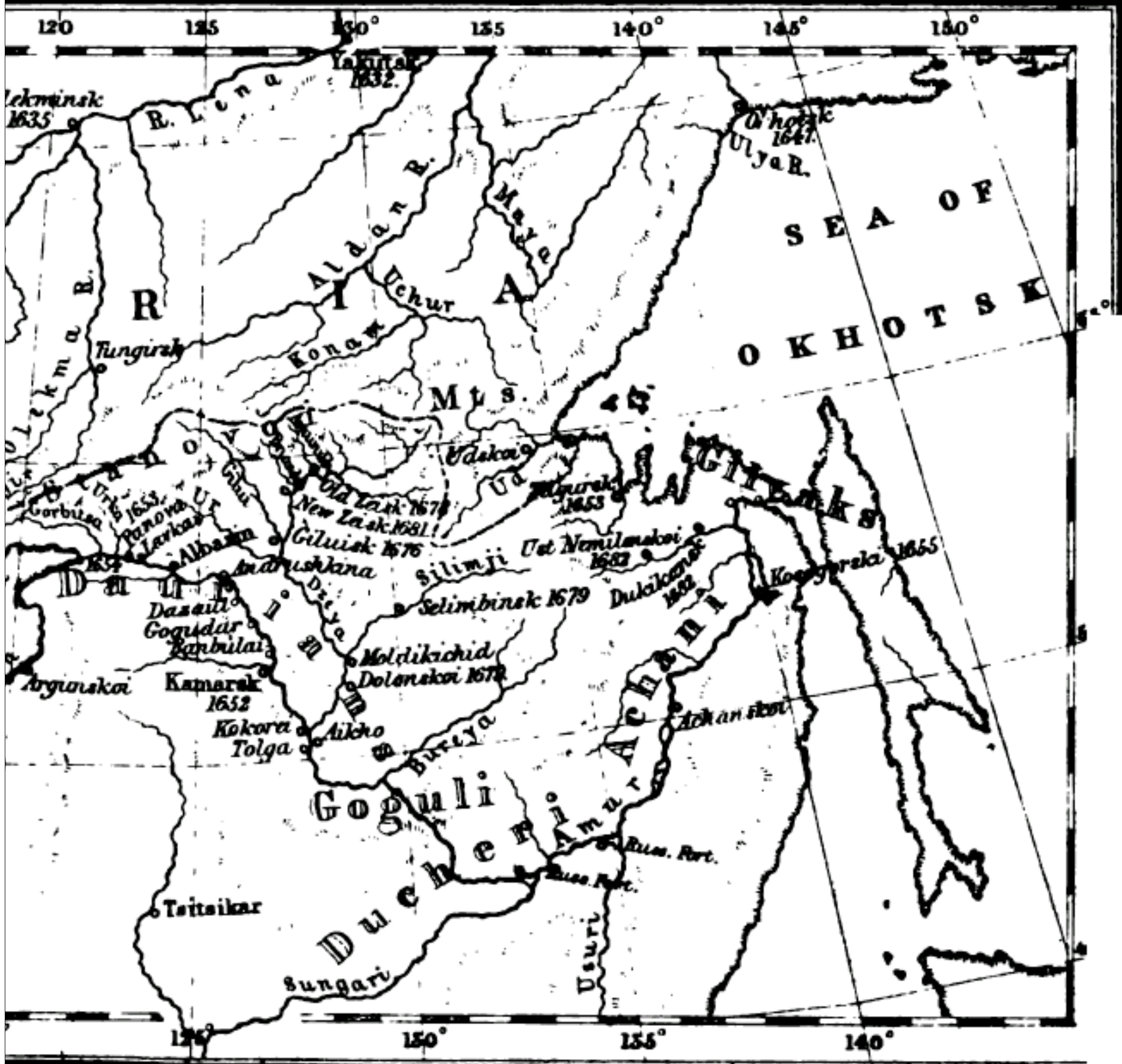


第3セッション 17:00～18:20  
 シェリル・コラード（米国ペパー  
 ダイン大学准教授）  
 「太古以来のロシア？：1849～  
 1855年アムール調査期のサハリ  
 ンを観を検証する」  
 ※報告は英語、質疑応答は通訳付  
 き、日本語訳テキストあり

19:00～ 懇親会

第23回例会

# サハリン樺太史研究会



London, Trübner & Co